

# 平成21年度 第3四半期決算の概要

平成19年10月1日の日本郵政公社の民営化で日本郵政公社から簡易保険事業の資産は主として株式会社かんぽ生命保険（以下「当社」といいます。）に、負債は主として独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構（以下「管理機構」といいます。）に承継されました。

当社は、平成19年度下半期より、新たな生命保険会社として生命保険業を営むとともに、管理機構が負債として承継した簡易生命保険契約を再保険として受再しております。

本資料は、このような特殊事情を踏まえ、以下の項目について当社の平成21年度第3四半期決算の結果を記載するとともに、便宜上、日本郵政公社の閉鎖時データ等を掲載しております。

1 新契約の状況	1 ページ	5 資産運用の状況	5 ページ
2 保有契約の状況	2 ページ	6 基礎利益の状況	7 ページ
3 損益の状況	3 ページ	7 健全性の状況	8 ページ
4 資産・負債の状況	4 ページ		

# 1 新契約の状況

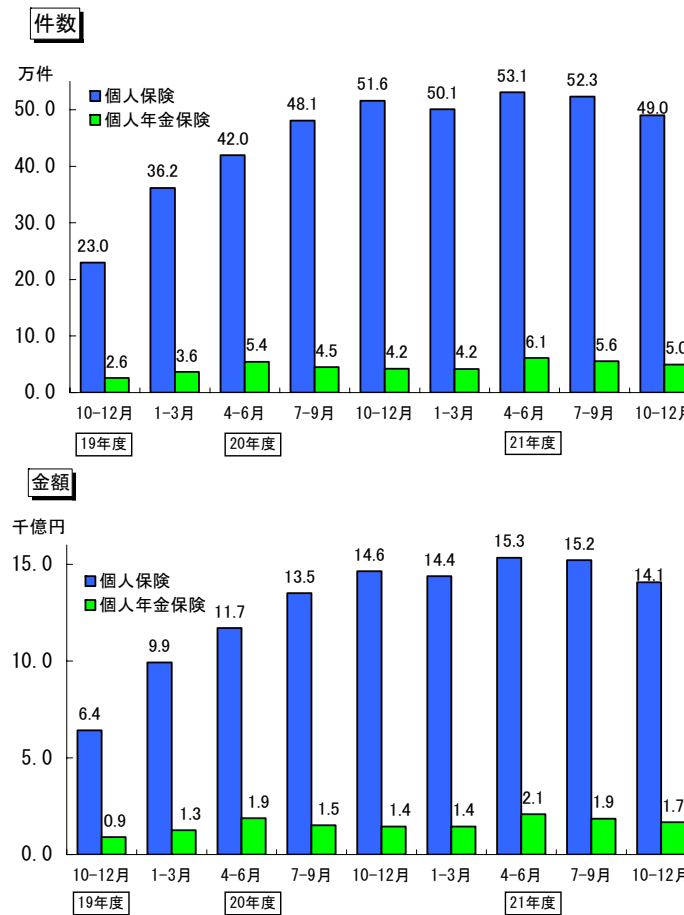
○ 平成21年度第3四半期累計期間の新契約は、個人保険が154万4千件、金額4兆4,630億円、個人年金保険が16万6千件、金額5,614億円となりました。

(単位未満四捨五入)

	平成21年度第3四半期累計期間新契約 (平成21年4月～平成21年12月)		平成20年度第3四半期累計期間新契約 (平成20年4月～平成20年12月)	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	1,544,048	4,462,993	1,416,196	3,985,455
普通終身	280,120	965,310	201,785	667,943
定額型	40,638	100,218	29,532	70,445
倍型	239,482	865,092	172,253	597,498
特別終身	104,776	313,734	79,142	226,330
介護終身	57	196	61	208
普通定期	721	1,596	742	1,848
普通養老	608,971	1,518,247	603,154	1,496,789
特別養老	357,136	1,465,342	331,043	1,381,504
特定養老	13,869	13,073	12,969	12,457
学資保険	178,151	184,297	187,056	197,284
上記以外	247	1,199	244	1,091
個人年金保険	166,319	561,386	141,426	484,491
終身年金	3,965	30,529	3,706	28,291
定期年金	162,354	530,857	137,718	456,189
夫婦年金	—	—	2	12

(単位:件、百万円)

平成20年度新契約 (平成20年4月～平成21年3月)	
件数	金額
1,917,207	5,424,862
276,678	928,481
41,313	99,389
235,365	829,092
107,391	310,823
82	269
999	2,446
802,063	1,996,831
454,146	1,895,796
17,465	16,753
258,070	272,058
313	1,405
183,134	628,755
4,986	38,911
178,146	589,833
2	12



## 2 保有契約の状況

- 平成21年度第3四半期末のかんぽ生命の保有契約は、個人保険388万件、金額11兆円、個人年金保険41万件、金額1兆3千億円となっております。
- また、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している契約は、保険4,196万件、保険金額11兆4千億円、年金保険545万件、年金額2兆円となっております。

(単位未満四捨五入)

【参考】受再している簡易生命保険の契約状況

(単位:件、百万円)

	かんぽ生命の保有契約			
	(保険者:株式会社かんぽ生命保険)			
	平成21年12月末		平成21年3月末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	3,883,953	11,028,072	2,445,352	6,870,755
普通終身	601,451	2,025,978	339,639	1,123,076
定額型	87,799	211,864	49,310	116,823
倍型	513,652	1,814,114	290,329	1,006,253
特別終身	231,106	675,134	131,443	375,602
介護終身	147	478	97	326
普通定期	1,732	5,816	1,157	3,273
普通養老	1,573,849	3,921,652	1,005,906	2,511,046
特別養老	915,722	3,799,668	586,734	2,457,486
特定養老	35,865	35,650	23,007	21,983
学資保険	523,388	560,638	356,879	375,918
上記以外	693	3,058	490	2,044
個人年金保険	406,136	1,349,213	243,171	824,112
終身年金	10,048	78,966	6,575	52,044
定期年金	396,073	1,270,138	236,581	771,959
夫婦年金	15	109	15	110

(単位:件、百万円)

	簡易生命保険の保有契約					
	(保険者:独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構)				(保険者:日本郵政公社(当時))	
	平成21年12月末		平成21年3月末		平成19年9月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保険	41,956,046	116,384,376	46,025,684	127,523,314	55,179,692	152,298,879
普通終身	5,379,410	12,214,732	5,614,640	12,788,182	6,037,550	13,700,659
定額型	2,220,566	5,110,008	2,269,861	5,228,354	2,367,177	5,456,120
倍型	946,348	2,742,308	1,041,073	3,056,790	1,168,631	3,451,588
特別終身	5,988,639	14,315,406	6,184,624	14,720,257	6,577,000	15,478,932
介護終身	8,860	28,061	9,076	28,731	9,518	30,130
普通定期	7,985	37,453	9,910	46,013	12,607	59,300
普通養老	12,983,356	31,811,721	14,953,174	36,595,885	19,264,113	47,243,499
特別養老	8,731,897	40,490,943	9,518,606	44,146,592	11,324,192	52,441,371
特定養老	158,742	287,093	163,412	296,057	173,112	314,368
学資保険	7,069,133	13,127,978	7,583,339	14,116,236	8,869,136	16,393,243
上記以外	1,628,024	4,070,989	1,988,903	4,785,362	2,912,464	6,637,377
年金保険	5,452,852	2,013,113	5,806,034	2,136,629	6,562,824	2,404,505
終身年金	1,378,745	435,228	1,396,784	441,088	1,433,711	453,443
定期年金	3,943,715	1,542,078	4,278,337	1,659,593	4,997,338	1,914,874
夫婦年金	130,284	35,805	130,804	35,946	131,666	36,186

(注)簡易生命保険契約の計数については、管理機構及び郵政公社における公表基準によるものです。そのため、かんぽ生命契約と簡易生命保険契約については、単純に比較することができません。

### 3 損益の状況

- 平成21年度第3四半期累計期間は、経常収益10兆5,641億円、経常費用10兆2,642億円、経常利益2,998億円となりました。
- 経常利益に、特別損益として価格変動準備金戻入額231億円等を加え、契約者配当準備金として2,301億円を繰り入れた結果、税引前四半期純利益は927億円となり、四半期純利益は590億円となりました。

(単位:億円(単位未満切捨))

	平成21年度 第3四半期累計期間 ① (21.4.1~21.12.31)	平成20年度 第3四半期累計期間 ② (20.4.1~20.12.31)	差額 ①-②	平成20年度 (20.4.1~21.3.31)
経常収益	105,641	114,197	△ 8,556	155,337
保険料等収入	56,115	59,499	△ 3,384	78,811
資産運用収益 (注1)	12,578	12,964	△ 386	17,139
その他経常収益 (注2)	36,947	41,733	△ 4,785	59,386
経常費用	102,642	112,978	△ 10,335	153,194
保険金等支払金	97,528	103,286	△ 5,757	139,357
責任準備金等繰入額 (注3)	166	960	△ 794	3,027
資産運用費用 (注4)	293	4,217	△ 3,924	4,694
事業費	4,044	4,075	△ 31	5,481
その他経常費用 (注5)	609	436	172	633
経常利益	2,998	1,219	1,779	2,142
特別利益 (注6)	231	1,078	△ 847	1,157
特別損失	0	0	0	18
契約者配当準備金繰入額	2,301	1,891	410	2,759
税引前四半期純利益	927	406	520	522
法人税等合計 (注7)	336	146	189	139
四半期純利益	590	259	331	383

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入12,149億円、金銭の信託運用益369億円、有価証券売却益51億円等です。

注2 その他経常収益は、責任準備金戻入額34,563億円、支払備金戻入額2,367億円等です。

注3 責任準備金等繰入額は、契約者配当金積立利息繰入額166億円です。

注4 資産運用費用は、有価証券売却損264億円等です。

注5 その他経常費用は、減価償却費303億円、税金276億円等です。

注6 特別利益は、価格変動準備金戻入額231億円等です。

注7 法人税等合計は、法人税及び住民税と法人税等調整額の合計金額です。

※ 勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。

## 4 資産・負債の状況

- 総資産は、平成21年3月末比4兆8,418億円減少し、10兆1兆7,360億円となりました。
- 純資産は、その他有価証券の含み益が増加したこと等により、1兆1,667億円となりました。

		平成21年度 第3四半期末 ① (21年12月31日)	平成20年度末 ② (21年3月31日)	差額 ① - ②
<b>資 産</b>		1,017,360	1,065,779	△ 48,418
	現金及び預貯金	13,190	22,792	△ 9,601
	金銭の信託	2,623	4,091	△ 1,467
	有価証券	807,742	833,268	△ 25,525
	貸付金 (注1)	175,021	183,418	△ 8,397
	有形固定資産	1,030	1,159	△ 129
	無形固定資産	772	729	43
	代理店貸 (注2)	1,260	961	298
	その他資産 (注3)	3,834	2,621	1,213
	繰延税金資産 (注4)	1,728	1,758	△ 30
<b>負債及び純資産</b>		1,017,360	1,065,779	△ 48,418
	<b>負 債</b>	1,005,693	1,055,052	△ 49,358
	保険契約準備金	989,871	1,027,272	△ 37,401
	その他負債 (注5)	11,023	22,774	△ 11,750
	退職給付引当金	562	536	25
	価格変動準備金	4,234	4,465	△ 231
	<b>純資産</b>	11,667	10,727	939
	資本金	5,000	5,000	-
	資本剰余金	5,000	5,000	-
	利益剰余金	1,156	661	494
	その他有価証券評価差額金	509	65	444

(単位:億円(単位未満切捨))

注1 貸付金は、機構貸付171,824億円、一般貸付3,175億円、保険約款貸付21億円です。

注2 代理店貸は、かんぽ生命が郵便局会社に委託している保険金等の支払に充てるために前渡している資金です。

注3 その他資産は、資産運用関連の未収収益3,621億円等です。

注4 繰延税金資産は、責任準備金889億円、支払備金537億円等の将来減算一時差異に係るものです。

注5 その他負債は、債券貸借取引受入担保金7,342億円、未払金1,037億円、機構預り金1,978億円等です。

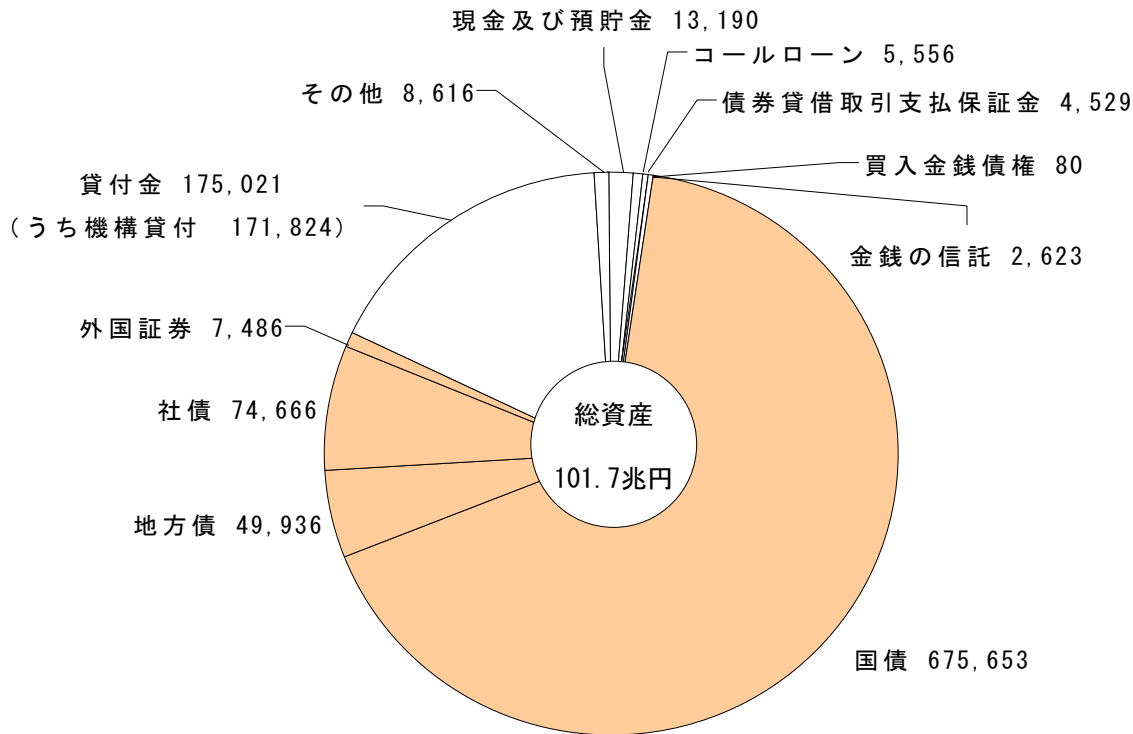
※ 勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。

# 5 資産運用の状況①

○ かんぽ生命の資産運用は、国債を中心とした有価証券が80兆円、貸付金が17兆円等で平成21年12月末の残高は、101兆7千億円となっております。

## 1 資産構成

(単位:億円)



## 2 資産残高

	平成21年度 第3四半期末 (21年12月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
資産残高	101.7兆円	106.5兆円	112.5兆円	113.7兆円

## 3 運用利回り

	平成21年度 第3四半期累計期間 (21.4.1~21.12.31)	平成20年度 (20.4.1~21.3.31)	平成19年度 (19.10.1~20.3.31)
運用利回り	1.57%	1.15%	0.67%

注 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

## 5 資産運用の状況②

- 満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体では2兆3,430億円の含み益となっております。
- その他有価証券では799億円の含み益となっております（税効果適用後は509億円）。

### 4 含み損益の状況

	平成21年度 第3四半期末 (21年12月31日)		平成20年度末 (21年3月31日)	
	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)
合 計	82兆 930億円	2兆3,430億円	84兆8,793億円	1兆7,235億円
満期保有目的の債券	37兆 870億円	1兆2,048億円	35兆3,601億円	9,984億円
責任準備金対応債券	37兆3,626億円	1兆 583億円	40兆8,212億円	7,148億円
その他有価証券	7兆6,432億円	(注1) 799億円	8兆6,979億円	(注2) 102億円
有価証券等	7兆3,900億円	708億円	8兆2,720億円	270億円
金銭の信託	2,532億円	90億円	4,259億円	△ 168億円

注1 税効果適用後の金額は、509億円になります。

注2 税効果適用後の金額は、65億円になります。

### 5 金銭の信託で保有する株式の含み損益がゼロになる株価水準

	平成21年度 第3四半期末 (21年12月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)	公社閉鎖時 (19年9月30日)
日経平均株価	8,800円	8,200円	14,500円	16,785円	9,800円

(参考) 日経平均株価、円相場、円金利(10年国債)の推移

	平成21年度第3四半期末 (21年12月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	公社閉鎖時 (19年9月30日)
日経平均株価	10,546円	8,109円	12,525円	16,785円
円ドル	92.10円	98.23円	100.19円	115.43円
円ユーロ	132.00円	129.84円	158.19円	163.38円
円金利(10年国債)	1.285%	1.340%	1.275%	1.675%

## 6 基礎利益の状況

- 平成21年度第3四半期累計期間（平成21年4月～平成21年12月）の基礎利益は3,400億円となりました。逆ざやが2,000億円発生しておりますが、死亡率・入院率の低下等による利益である「危険差益」、事業の効率化による利益である「費差益」によりカバーされ、三利源を合計した基礎利益はプラスとなっているものです。
- 平均予定利率は1.99%で、利子利回り1.71%との差は0.28%です。

### ○ 基礎利益の内訳（三利源）

	平成21年度第3四半期累計期間① (21.4.1～21.12.31)	平成20年度第3四半期累計期間② (20.4.1～20.12.31)	差額 (①-②)	平成20年度 (20.4.1～21.3.31)	平成19年度 (19.10.1～20.3.31)
基礎利益	3,400億円	3,393億円	7億円	4,324億円	2,672億円
(内訳) 危険差益	2,600億円	2,800億円	△ 200億円	3,500億円	1,700億円
費差益	2,700億円	3,400億円	△ 700億円	4,300億円	2,900億円
利差益 (逆ざや)	△ 2,000億円	△ 2,900億円	900億円	△ 3,500億円	△ 2,000億円

### (参考) 基礎利益上の平均予定利率

	平成21年度第3四半期累計期間① (21.4.1～21.12.31)	平成20年度第3四半期累計期間② (20.4.1～20.12.31)	差 (①-②)	平成20年度 (20.4.1～21.3.31)	平成19年度 (19.10.1～20.3.31)
平均予定利率 (注1)	1.99 %	2.03 %	△ 0.04 %	2.03 %	2.06 %
利子利回り (注2)	1.71 %	1.65 %	0.06 %	1.66 %	1.68 %

注1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。(期始責任準備金+期末責任準備金-予定利息) × 1 / 2

注2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支（キャピタル損益を含まない運用収支）等の経過責任準備金に対する利回りのことです。



# 7 健全性の状況

- 平成21年度第3四半期末では、危険準備金2兆9,376億円及び価格変動準備金4,234億円を合わせた3兆3,611億円を内部留保として積み立てております。
- また、逆ざや等を補填するための追加責任準備金を6兆6,172億円積み立てております。

## 1 内部留保の積立状況

	平成21年度第3四半期末 (21年12月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
危険準備金	2兆9,376億円	2兆8,862億円	3兆762億円	3兆3,162億円
限度額(充足率)	3兆2,305億円 (91%)	3兆3,588億円 (86%)	3兆5,690億円 (86%)	3兆5,305億円 (94%)
価格変動準備金	4,234億円	4,465億円	5,590億円	6,725億円
限度額(充足率)	4,234億円 (100%)	4,465億円 (100%)	5,590億円 (100%)	6,626億円 (101%)
内部留保合計	3兆3,611億円	3兆3,328億円	3兆6,352億円	3兆9,887億円

## 2 追加責任準備金の積立状況

	平成21年度第3四半期末 (21年12月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
追加責任準備金	6兆6,172億円	6兆8,504億円	7兆1,925億円	7兆3,779億円

## 3 実質純資産

	平成21年度第3四半期末 (21年12月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
実質純資産	(注) 6兆9,479億円	6兆2,036億円	6兆131億円	(注) 4兆7,303億円

注 保険業法施行規則等の規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。

## 4 ソルベンシー・マージン比率

	平成21年度第3四半期末 (21年12月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
ソルベンシー・マージン比率	(注) 1,642.2%	1,429.7%	1,116.3%	(注) 1,117.9%